

政務活動費収支報告書

平成 29 年 4 月 7 日

福知山市議会議長
田中法男様

会派名 蒼士会
経理責任者 野田勝康



平成 28 年度 政務活動費収支報告書について

福知山市議会政務活動費の交付に関する条例第 7 条第 1 項及び第 2 項の規定に基づき、下記のとおり平成 28 年度政務活動費収支報告書を提出します。

記

1 収入
政務活動費 360,000円

2 支出

(単位：円)

科目	金額	備考
調査研究費	130,605	岩手県紫波町「オガールプロジェクト」 岩手県盛岡市、花巻市視察
研修費	134,920	「全国災害ボランティア連盟」研修会 伊豆大島の土砂&火山対策
広報費	0	
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	30,843	コピー代、ファイル、のり、コピー用紙など
資料購入費	799	書籍「稼ぐまちが地方を変える」
人件費	0	
事務所費	0	
合計	297,167	

3 残額 62,833円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。



(様式1)

平成28年6月10日提出

福知山市議会議長 田中 法男 様

会 派 名 蒼土会

代表者名 野田 勝康



政務活動費研究研修視察報告書

- 1 視察年月日 平成28年5月23日(月)～5月25日(水)
- 2 視察先 (1) 岩手県花巻市 (2) 岩手県盛岡市 (3) 岩手県紫波郡紫波町
- 3 参加者氏名 野田 勝康・高橋 正樹
以上2名
- 4 経 費 合計 130,605 円 (65,303 円/1人あたり)
- 5 視察項目
 - (1) 岩手県花巻市
・「賢治のまちづくり推進事業」 視察
 - (2) 岩手県盛岡市
・「中心市街地活性化の取り組み」 視察
 - (3) 岩手県紫波町
・「オガールプロジェクト」 視察
- 6 添付資料 視察行程表・写真・資料(別添のとおり)
- 7 経費精算書 (別添のとおり)



政務調査費研究研修視察報告書 (会派名 蒼士会)

■ 5月23日(月) 14:00~16:00

花巻市 (新市制施行:平成18年・人口:99,220人)

視察項目 ・「賢治のまちづくり推進事業」

【まちぐるみ観光推進事業とリニューアルオープンした宮沢賢治記念館】

1 視察先概要

花巻市の強みである「宮沢賢治」を活かして、交流人口の増加を図り、市内に活気を作り出したいという思いから宮沢賢治をテーマに活動している団体や有識者、芸術文化教育団体、農業商工業関係団体、観光関連団体等 31 団体で、「賢治のまちづくり委員会」を平成 22 年に立ち上げた。

賢治を活かしたまちづくりの方向性について検討、賢治に関する情報の共有と相互の協力、行政に対する提言を行っている。

現在、花巻市には宮沢賢治関連施設として、宮沢賢治記念館・宮沢賢治イーハトーブ館・宮沢賢治童話村の3館があり、その中でも宮沢賢治記念館は、昭和 57 年の開館以来、約 695 万人の来場者を迎えている。しかし、開館以来 32 年が経過し、展示施設が老朽化していることや、現在まで積み上げられてきた研究の成果を展示内容に反映させるため、平成 27 年春に展示をリニューアルし、施設を改修、新たに整備した。

2 施設概要 (宮沢賢治記念館)

○規模 展示リニューアル工事 施工面積 890.20 m²

○構造 鉄筋コンクリート造

○工事費 144,276 千円

○開館年月日 平成 27 年 4 月 25 日

○休館日 年始年末 (12 月 28 日~1 月 1 日)

3 施設の比較検討

福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン、丹波生活衣館)、大規模歴史建築活用事業、オープンミュージアム・まちなか観光事業、駅正面リニューアル事業など、福知山市が展開する中心市街地活性化基本計画の主要事業との比較検討。

4 施策施行・導入の方策と課題

花巻市では、平成 24 年「賢治まちづくり課」を設置し、賢治情報の一元管理と情報発信総合窓口機能及び賢治に関する団体等との連絡調整や協働による事業実施を行い、イベントの企画・実施、イベントの総合調整を担当している。

その中で、「賢治のまちづくりを推進するための4つのプロジェクト」を中心に展開している。

①「ひと」=人材育成 ⇒ 「賢治を学ぶ場づくり」

- ②「イベント」＝企画・開催 ⇒ 「イベントの開催による交流人口の拡大」
 - ③「景観」＝賢治スポット、賢治ゾーン ⇒ 「賢治の香りあふれるまちの整備」
 - ④「もの」＝情報発信・商品開発 ⇒ 「情報発信・PRツールとしての商品開発」
- 賢治のまちづくり推進事業費として

◆H26 決算 70,922 千円

◆H27 決算 82,445 千円

◆H28 予算 24,718 千円 (H26～H28 には、文化庁の文化芸術振興費補助金をうける)

花巻市は、花巻空港、新幹線新花巻駅、東北線花巻駅がいずれも中心市街と離れた位置に点在し、宮沢賢治関連施設も駅や空港から離れた場所に位置している。また、市役所は中心市街地に立地しているものの、他の地方都市と同様に市街地の衰退に悩んでいる。

まちの印象としては、10万人弱の人口を持っているものの、駅周辺や市街地の状況は、福知山市より小ぶりな感じがする。しかし、国内だけではなく世界的な知名度のある宮沢賢治の生誕地というネームバリューは大きく、宮沢賢治記念館1館だけで、年平均来館者20万人の集客を集めている。

福知山市における、観光・文化施設入館者数は平成25年データで7館合わせて年間78,000人。宮沢賢治の著作書は20カ国語以上に翻訳されており、国内だけでなく、最近は特に海外からの来場者も多いという。市東部に花巻温泉郷を抱えている事も市外からの来訪者数の確保に効果を発揮している。

観光、文化、芸術、リゾートと集客に必要な要素がそろっている花巻市の幸運には、うらやむ点も多いが、目を転じて、市内の商工業の発展や活性化は、他市と同様の衰退化の現状が見て取れる。福知山市がどのような総合戦力を展開していくべきなのか、大きな課題として感じる。

5 写真・資料等 (資料は別紙添付)



記念館玄関にて

■ 5月24日(火) 10:00~11:30

盛岡市 (市制施行: 明治22年 ・人口: 294,302人)

視察項目 ・「中心市街地活性化の取り組み」

【第2期 盛岡市中心市街地活性化基本計画】

1 視察先概要

盛岡市の中心市街地活性化基本計画は、第1期計画が平成26年まで、そして第2期計画が平成26年から平成30年3月までを事業期間として実施されている。

盛岡市中心市街地活性化基本計画では、中心市街地を、北東北の交通の要衝となっている盛岡駅を始め、盛岡城跡公園及びもりおか歴史文化館、河南地区に位置する盛岡バスセンターとつながるエリアとその周辺区域と定め、居住人口と交流人口を増加させ、回遊性を高めることで中心市街地の活性化を図っていこうとしている。

2 施設概要 (もりおか歴史文化館)

○規模 管理面積 6,013 m² 建築面積 2,534 m² 延床面積 4,676 m²

○場所 岩手県盛岡市内丸1番50号

○構造階数 既存建物: 鉄筋コンクリート造地下1階・地上2階建て
(昭和42年竣工、平成22年全面改装)

増築棟: 鉄筋コンクリート造地上2階建て (平成22年竣工)

○休館日 毎月第3火曜日 年始年末(12月31日~1月1日)

3 施設の比較検討

福知山城憩いの広場(ゆらのガーデン、丹波生活衣館)、大規模歴史建築活用事業、オープンミュージアム・まちなか観光事業、駅正面リニューアル事業など、福知山市が展開する中心市街地活性化基本計画の主要事業との比較検討。

4 施策施行・導入の方策と課題

盛岡市における中心市街地についての考え方は、国、県、市などの行政機能、商業・サービス業・金融機関を始めとした経済機能、歴史的遺産や自然などの観光機能、そして大学や病院などの高度な学術・医療機能など多くの面において地域を牽引する役割を担うと共に、都市の特色ある個性を内外に情報発信し、「まちの顔」としての役目を果たす地区ととらえている。

しかし、近年、車社会の発展や市民のニーズの変化により、市民の消費行動やライフスタイルに大きな変化が現れたことを受けて「まちの顔」としての中心市街地の優位性が相対的に低下してきたことから住民や交流の核となってきた中心市街地の活性化が必要と考えている。

盛岡市の中心市街地は、景気低迷による商店数や小売り年間販売額の減少のほか、郊外型大規模小売り店舗の影響や、統廃合などによる各種事業所の減少、空き店舗などによる吸引力の低下が見られており、街の活力が徐々に失われている状況がある。

平成26年まで展開された第1期中心市街地活性化基本計画では、その効果として、歩行者・自転車通行量の減少に歯止めがかけることができ観光客入込数の増加が一定図られたものの、未

実施事業があったことや景気の低迷、震災などの外部要因により、想定した効果が得られなかった一面もある。

第2期計画に向けた課題としては、生活をする上で便利な機能の充実と中心市街地を快適に楽しむための基盤整備そして、特色ある地域資源のブラッシュアップが上げられている。

基本方針として

- ・商店街の賑わいや魅力を楽しむ中心市街地の形成
- ・暮らしや便利さを感じる中心市街地の形成
- ・盛岡の歴史や文化に触れる中心市街地の形成

事業としてはハード・ソフト合わせ 60 事業を実施又は実施予定としている。

主なものとして、

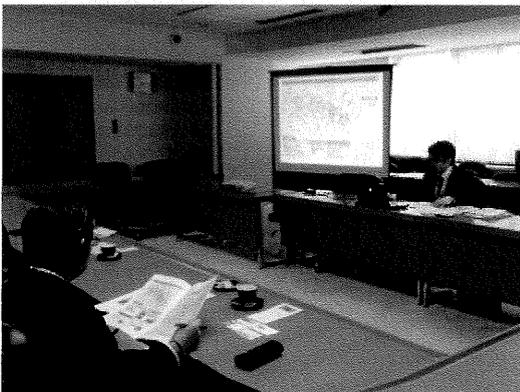
盛岡バスセンター再整備事業、岩手銀行旧中ノ橋支店（赤煉瓦建築物）活用事業、優良建築物等整備事業（防災性及び省エネに配慮したマンション110戸予定、介護機能付き共同住宅56戸）、いちの開催、盛岡歴史文化館教育普及・学芸事業、お城を中心としたまちづくり事業など。

盛岡市街での年間宿泊者数は約50万人、盛岡歴史文化館の入館者数も年間約25万を呼び込んでおり、観光に力点をおきながら、中心市街地の人口増を図っていこうとする方向性が見える。

中心市街地はマンションなどの建設により、徐々に人口回復が進みつつあるということであった。

60事業の中には商店街活性化支援事業や空き店舗活用推進事業があるものの、城下町や町家の保存修景事業はなく、これらは重点事業として捉えられていないという印象を持った。盛岡市においては、中心市街地活性化事業の方向性が新たな人口回復施策に向かっていると感じた。

5 写真・資料等（資料は別紙添付）



市役所にて



もりおか歴史文化館

■ 5月25日(水) 9:30~11:45

岩手県紫波郡紫波町 (町制施行:昭和30年 ・人口:32,595人)

視察項目 ・「オガールプロジェクト」

【公民連携の手法による紫波中央駅前都市整備事業】

1 視察先概要

紫波街は、JR紫波中央駅西側一帯の町有地10.7haを中心とした都市整備を図るため、町民や民間企業の意見を反映させて、平成21年3月に「紫波町公民連携基本計画」を策定。この計画に基づき平成21年度から始まった紫波中央駅前都市整備事業を「オガールプロジェクト」と称している。

公民連携基本計画では、塩漬けとなっていた町有地を民間企業の立地、進出に活用させようという公民の連携手法により、町財政負担を最小限に抑えつつ、必要な公共施設の整備を図り、新庁舎建設基本構想、図書館基本構想に基づきながら、未利用町有地の土地利用の方針を位置づけていった。

PPP手法によるまちづくりの歩み

◇東洋大学と連携

平成19年4月;紫波町は東洋大学と「公民連携の推進に関する協定」を締結した。

大学側は最小の財政負担で最大限の公共的目的を達成することを目指す「地域再生支援プログラム」として可能性調査を実施。町は、庁舎、図書館、学校給食センターの3施設を紫波中央駅前の公有地に整備する可能性について学術的視点からの研究を願いでる。

◇紫波町PPP協議会を設立

平成19年11月;町は、「紫波町PPP推進協議会」を設立。

全国都市再生モデル調査事業を実施する。

◇公民連携基本計画(案)を策定

平成20年6月;町において、「公民連携基本計画」(案)を策定した。

これをもとに町民の意見公募、意見交換会を行う。

◇PPP推進協議会から調査結果と提言

平成20年6月;紫波町PPP推進協議会から調査結果と提言が提出される。

◇公民連携基本計画議決

平成21年3月;「公民連携基本計画」が議決される。

◇官民複合施設「オガールプラザ」事業化開始

平成21年6月;事業者資格審査を開始し、建設事業に着手する。

2 整備施設概要

○計画面積 21.2ha (町有地10.7ha含む)

○事業期間 第1期・交付金対象 平成21年4月~平成26年3月

岩手県フットボールセンター (平成23年4月)

事業主体:(社)岩手県サッカー協会

A街区 オガールベース (平成26年7月竣工)

事業主体:オガールベース(株) ※民間事業者による複合施設

- B街区 オガールプラザ（平成 24 年 6 月竣工）
事業主体：オガールプラザ（株） ※紫波町（完成後、図書館等を買収） ※官民複合施設
- C街区 役場庁舎（平成 27 年 5 月竣工）
事業主体：紫波町 PFI 受注者：紫波シティホール（株） ※維持管理 H27/04～H42/03
- D街区 エネルギーステーション（平成 26 年 7 月完成）
事業主体：紫波クリーンエネルギー（株） ※民間事業者による熱供給施設

オガールプラザの施設概要

総事業費；10 億 9,500 万円

延べ床面積；5,822.34 m²

構造；木造 2 階建

東棟：(1,140.5 m²) 紫波町子育て応援センター

(紫波町がオガールプラザから賃貸する公設公営の施設)

眼科クリニック、歯科クリニック、眼鏡ショップ、調剤薬局、カフェ

中央棟：(2,693.53 m²) 紫波町情報交流館、地域交流センター (1,252.32 m²)

町図書館 (1,441.21 m²)

西棟：(1,257.44 m²) 紫波マルシェ (620.4 m²) 学習塾 (167.6 m²)、居酒屋、パブリックスペース、事務室、建物に付随した幅 4m の屋根付き屋外通路等

3 施策施行・導入の方策と課題

このオガールプロジェクトは、PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ＝公民連携）という手法で進められている。国や地方自治体が行う事業や公共サービスに、民間のおカネや知恵、ノウハウを取り入れることを基本とした街づくりの試みである。

地域開発成功のカギは突き詰めれば 2 つあると主張された。1 つは消費目的だけではない人が集まる場所を創造することであり、2 つめが、土地を有効に活用できるファイナンス（資金調達）の仕組みの構築である。

具体的な仕掛けの第 1 号が、岩手県サッカー協会を巻き込んで建設した岩手県フットボールセンター。第 2 弾がオガールプラザの建設となっている。

資金調達のスキームとしては証券化を活用。オガールのプラザの場合、「オガールプラザ株式会社」という特別目的会社を設立。ここがオガールプラザの建物を建設、所有し、運営する。オガールプラザは、東棟と西棟が賃貸部分で、その間に紫波町情報交流館（図書館、地域交流センター）がある。建物完成後に、交流館部分は紫波町に売却する予定です。すめられた。

約 11 億円の資金調達の仕組みは、紫波町への売却代金が 8.4 億円、政府系の民間機構「オガール紫波」が 1.5 億円を資本金として出資。更に残る 1.5 億円は東北銀行からの融資で調達した。紫波町の 8.4 億円のうち 3 億円は国交省から補助金として引っ張ってきたという。

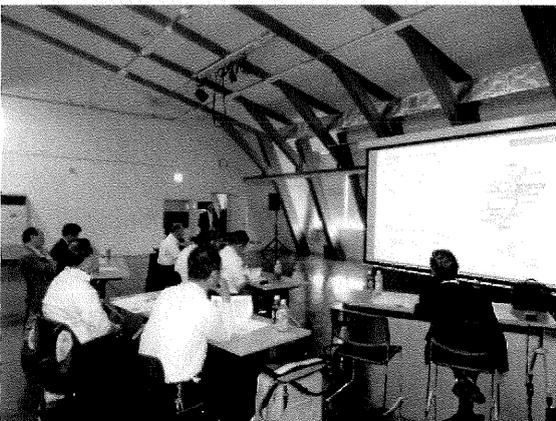
証券化の最大の特徴は、親会社や自治体と事業が切り離され、その事業が生み出すキャッシュフロー（プラザが生むテナント収入）だけで、返済や配当が行われることによる。もし、オガールプラザにテナントが集まらず、事業に失敗しても、紫波町に損失は及ばない。それだけに、貸し手である民間銀行は事業をシビアに見るということになる。ここに事業計画が甘く、ムダが多いと批判される公共事業との違いがあると説明を受けた。

紫波町は、岩手県の県庁所在地盛岡市と花巻市の中間点に在り、盛岡市へは電車で 20 分の距離に在る。盛岡広域圏内にあり、比較的交通環境に恵まれた都市的要素を持っており、少子高齢化は例外ではないものの人口減少下にあつて人口微減の町となっている。新駅周辺を開発し、新たな町を創る特殊で恵まれた地理的要因があるらしきことが解つた。事業の成否はこの先、いくらかの時間経過が必要と思われるが、仮に、この町が、広域ブロードバンド事業の運営や学校法人に対する支援や大学運営を行うとしたらどのような手法をとろうとするのか、おそらく福知山市とは異なる判断をするであろうと思う。

4 写真・資料等 (資料は別紙添付)



左棟がオガールプラザ、右棟がオガールベース



プロジェクト概要研修



オガールプラザ内 紫波マルシェ

(様式1)

平成29年2月16日提出

福知山市議会議長 田中 法男 様

会 派 名 蒼士会

代表者名 野田 勝康



政務活動費研究研修視察報告書

- 1 研修会年月日 平成29年2月1日(水)～2月2日(木)
- 2 研修先 (1) 東京都大島町
全国災害ボランティア議員連盟
「伊豆大島の土砂&火山対策」研修
- 3 参加者氏名 野田 勝康・高橋 正樹
以上2名
- 4 経 費 合計 134,920 円 (67,460 円/1人あたり) ✓
- 5 研修項目
- 研修 1 「台風26号災害の概況」
講師 伊豆大島火山防災連絡事務所 技術専門官 加治屋 秋実氏
- 研修 2 「災害ボランティア活動の実際」
講師 大島社会福祉協議会 主任 鈴木 祐介氏
- 視察 1 「災害現場と砂防施設」
講師 東京都大島支庁 土木課長 小野 満基氏
- 研修 3 「火山対策について」
- ①火山監視体制と火山活動の現状
講師 気象庁地震火山課火山監視・警報センター伊豆大島火山防災連絡事務所
火山調査官 平山 康夫氏
- ②町の火山防災対策
講師 大島町役場総務課 高橋 義徳氏
- 視察 2、3 「三原山溶岩流堤・火山博物館・溶岩導流堤現場研修」
講師 伊豆大島ジオパーク推進委員会委員 認定ジオガイド 中林 利郎氏
- 6 添付資料 研修行程表・写真・資料(別添のとおり)
- 7 経費精算書 (別添のとおり)



政務調査費研究研修視察報告書 (会派名 蒼士会)

1 研修内容 **【平成28年度 全国ボランティア議員連盟研修会】**

研修 1 「台風26号災害の概況」

講師 伊豆大島火山防災連絡事務所 技術専門官 加治屋 秋実氏

研修 2 「災害ボランティア活動の実際」

講師 大島社会福祉協議会 主任 鈴木 祐介氏

視察 1 「災害現場と砂防施設」

講師 東京都大島支庁 土木課長 小野 満基氏

研修 3 「火山対策について」

①火山監視体制と火山活動の現状

講師 気象庁地震火山課火山監視・警報センター伊豆大島火山防災連絡事務所
火山調査官 平山 康夫氏

②町の火山防災対策

講師 大島町役場総務課 高橋 義徳氏

視察 2、3 「三原山溶岩流堤・火山博物館・溶岩導流堤現場研修」

講師 伊豆大島ジオパーク推進委員会委員 認定ジオガイド 中林 利郎氏

2 研修の概要と評価

【第一日目】2月1日

研修 1 「台風26号災害の概況」

講師 伊豆大島火山防災連絡事務所 技術専門官 加治屋 秋実氏

講義内容 : 平成25年10月15日から16日に伊豆大島を襲った台風26号は、1時間降水量122.5ミリ(日本記録153ミリ)24時間降水量824ミリ(日本記録851ミリ)という記録的な大雨をもたらした。

この大雨により大島では、大規模な土石流が発生し、被害家屋150戸、死者36人、行方不明者3人という大災害となった。

台風26号の発生した同年平成25年には、福知山市でも9月15日から16日にかけて、台風18号が接近、長時間にわたる降雨により由良川が氾濫し洪水を引き起こした。人的被害はなかったものの家屋被害、土砂災害、河川・道路被害、農業被害など福知山市に甚大な被害をもたらしている。

また、翌年の平成26年8月16日から17日未明の8月豪雨災害では、市街地を中心に短時間に集中的な降雨があり、市街地に甚大な浸水被害をもたらしたことは記憶に新しい。

大島に土砂災害が発生した要因は、記録的な大雨の他に、火山島であるための火山灰と溶岩により構成された土質にある。水を通しやすい層と通しにくい層が幾重にも積み重なり固い層の上に水が吹き出るパイピング現象が起り表層崩壊につながった事で、斜面崩壊から緩勾配の住宅地へ土石流が

流下していった。又、土砂被害が大きくなった原因として、道路を流れ下った流木が沢の曲がり角で堆積、越流したことが大きな要因という事である。

人的な被害が拡大した要因として、避難勧告をめぐる問題がある。

台風 26 号の接近に際し、大島町には避難勧告が出されなかった。なぜ、避難勧告がだされなかったのか。避難の対象範囲として都道府県は土砂災害警戒区域を指定する必要があるが、当時は指定されていなかった。また、ハザードマップ、避難計画等も未完成であった。土砂災害警戒情報は、平成 20 年以来、大島町に 7 回発表されていたが、土砂災害は 1 度も発生しなかったことで、避難勧告に戸惑いがあったことがあげられる。

新たな課題として、土砂災害後の 3 年間に 80 回の大雨対応業務を実施し、うち 6 回に避難勧告／指示を発令したが、当初 40%あった避難率が 2 年 10 ヶ月後には 1.5%に減少した。8 回のアンケート調査では避難しない理由として「土砂災害は起こらないと思う」との回答が多く、何回も不発に終わって、「勧告ぐらいでは大丈夫ではないか」という意識をつくってしまったことで、空振りが続くと避難しなくなってしまう。土砂災害警戒情報の精度を上げることの必要性を指摘されている。

福知山市における警戒避難情報の精度、避難勧告の発令のタイミングなど、聴くべき点は多く、非常に参考になった。

避難率向上のための対策として

空振りを減らす 土砂災害警戒情報の向上（大島町では、土石流と降雨量との関係から独自に避難の基準を設定した）

避難所の改善 空調設備、※段ボールベッド、高齢者・乳幼児用個室、避難経路の整備、※ペットの受け入れ

普及・啓発 防災資料の全世帯配布 防災講演会 ジオパーク活動

※特に好評な対応策

研修 2 「災害ボランティア活動の実際」

講師 大島社会福祉協議会 主任 鈴木 祐介氏

講義内容 : 災害ボランティアセンターの概要

■開設日時 平成 25 年 10 月 18 日正午（発災から 2 日後）

■設置主体 大島社会福祉協議会

■活動実績 平成 25 年 10 月 18 日～平成 26 年 3 月 31 日

活動者数：7,708 名（島内 2,540 名・島外 4,699 名）

（※VC 開設当時は島内外のカウントをしていないため合計に差異あり）

活動件数：706 件

主な活動内容

災害復旧など 床上・床下の泥出し、敷地内の泥出し、瓦礫の撤去、家財道具の運び出し、廃棄物の運搬、清掃、食器洗い、整地、消毒（消石灰による床下の消毒）等

生活支援など かわら版の配布（情報提供・相談支援）、喫茶スペースの開設、仮設住宅などへの引越支援、レクリエーション、配食サービス（社協の従来事業を被災者向けに）等

～大島社協災害ボランティア・センターの支援活動で特に意識したこと・注意したこと～

1. 災害VC（ボランティア・センター）を運営するとは

- ・誰のための、何のための災害VCか
- ・どこまで災害VCで支援するのか
- ・いつまで災害VCを運営するのか

やり過ぎてはいけない、やる気を削ぐことになる。

代わりにやってしまうことが、はたして支援なのか？

2. ニーズの把握

- ・被災者のニーズは一人ひとり異なる
- ・被災者はどうやって声をあげたらいいのかわからないこともある
- ・災害VCで対応できないニーズはどうする？

支援の視点は「寄り添い」と「エンパワメント」

Empowerment・(湧活)とは人に夢や希望を与え、勇気づけ、人が本来持っている生きる力を湧き出させること。

3. 情報の発信・共有

- ・インターネット、マスコミの活用
- ・毎日の定例ミーティングは外部からの支援者にもオープンに
- ・行政、他団体などとの連携

災害VCの味方をつくる

公式サイト（一般的なWEBサイト）とFacebook

4. 受援力

- ・災害VCの運営に外部支援者が参加
- ・災害VCの意思決定の場面にも参加してもらう

アセスメント力とコーディネート力が大事

支援者はそれぞれの強みを活かしてギャップのない支援を

反省と今後に備えて

災害ボランティアセンターは、法制度化されている組織ではない。東日本大震災でも、住民グループ、NPO、大学、行政等が災害ボランティアセンターを運営したケースがある。ただ、多くの地域では、地元の社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを立ち上げることが地域防災計画にさだめられている。発災以前は大島町の地域防災計画には災害ボランティアセンターの設置に関する明確な記述はなかったが、平成28年度より大島社協が設置主体として、現在、改定作業が進められている。

災害VCに必要な資源として

ヒト 活動するボランティア、VC運営スタッフ、運営・コーディネートのノウハウ

モノ 災害VC設置場所、活動資機材、情報発信ツール

カネ 災害VC運営財源、被災者支援活動財源、流用可能な余剰資金など

福知山市においても、災害ボランティアセンターは社会福祉協議会の運営に委ねられている。最近の頻発する水害でも、VC 運営のノウハウ蓄積は一定あるものの、参考にすべき視点と課題を改めて認識することになった。

視察 1 「災害現場と砂防施設」

講師 東京都大島支庁 土木課長 小野 満基氏

視察内容 : 『堆積工』『導流堤』『流路工』などの現場視察

写真・資料等 (資料は別紙添付)



研修 1 「台風 26 号災害の概況」



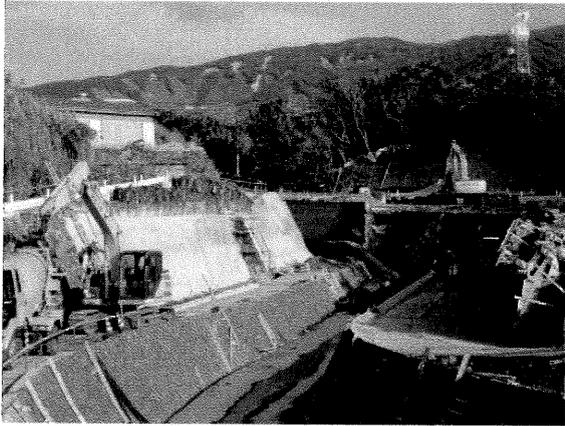
研修 2 「災害ボランティア活動の実際」



視察 1 「災害現場と砂防施設」



視察 1 「表面浸食防止工」



視察 1 「導流工(施工中)」

【第二日目】 2月2日

研修 3 「火山対策について」

①火山監視体制と火山活動の現状

講師 気象庁地震火山課火山監視・警報センター伊豆大島火山防災連絡事務所
火山調査官 平山 康夫氏

②町の火山防災対策

講師 大島町役場総務課 高橋 義徳氏

① 講義内容 : 火山監視体制と火山活動の現状

日本に存在する活火山は、現在 110 火山。その内、「火山防災のために監視・観測体制の充実等の必要な火山」として火山噴火予知連絡会によって選定された 50 火山については、噴火の前兆を捉えて噴火警報を的確に発表するために、地震計、傾斜計、空振計、GNSS 観測装置、監視カメラ等の火山観測施設を整備し、関係機関（大学等研究機関や自治体・防災機関等）からのデータ提供をうけ、火山活動を 24 時間体制で常時観測・監視している。

現在、近畿、四国、中国地方では、選定された常時観測火山は存在していない。

伊豆大島では明治期以降 36～39 年間隔で中規模噴火が発生しており、現在 1986 年の噴火から 30 年が経過している状況である。又、大規模噴火は 150 年～200 年間隔で発生しており、これも 1777 年の大規模噴火から既に 240 年が経過しているが、今のところ大きな予兆は発生していない状況という。

② 講義内容 : 町の火山防災対策

昭和 61 年の噴火災害のとき、なぜ、島民約 1 万人が迅速かつ安全に島外へ避難できたのか。

その理由として、

1. 11月としては、季節風が吹かず、海も穏やかで天候が非常に良かった。
2. ライフライン（電気・水道・電話等）が、避難の際にも正常に機能していた。
3. 消防団員の地道な避難誘導活動があった。
4. 日頃から住民同士のコミュニティの輪があった。
5. 島内の防災機関の長が一同に会していた。（町長、支庁長、警察署長、消防団長、東海汽船支店長）
6. 島内交通機関の活躍があった。

しかし、現在の状況を昭和 61 年当時と比べると、人口は 10,617 人から 8,033 人に減少。65 才以上の高齢化率は 17.2%から 36%に増加。消防団員数は 497 名から 297 名に 200 名の減少。バス台数は 38 台から 18 台へと半分以下の数になっている。

火山避難への取り組みとしては、平成 27 年 12 月の「活火山法の一部改正」により、平成 28 年 4 月に伊豆大島火山防災協議会が設置されたことで、火山噴火災害が発生したときに、円滑かつ迅速な避難ができるよう、現在、避難計画の策定中である。

火山避難における課題は、

1. 輸送力の減少（島内バス台数の減少・大型船の減少）

- | | |
|-----|-------------------------------|
| 対 策 | ・ 噴火ケースごとにバスの配車・運行計画の作成 |
| | ・ 噴火ケースにより船舶会社等への事前要請 |
| | ・ ルールを定めた自家用車（相乗り）での避難を有りとする。 |

2. 高齢化率の増加

- 対 策**
- ・避難行動要支援者の把握、避難支援体制の確保
 - ・自主防災組織の育成、地域住民の防災意識向上
 - ・自助・共助の取り組みの普及・啓発

その他の大きな課題点として、当時の噴火災害を経験した人が非常に少なくなっており、町役場の職員、又、島内の防災機関も噴火を経験した職員は数えるほどしかいない実情という。過去の経験を活かすことができる状況ではないことが危惧されている。そのため、普段の生活の中で、活火山の島で日々生活していることを常に認識し、三原山についての意識・知識を持ち「噴火する」「噴火に備える」「噴火したら避難する」という想像力を常に喚起することが大切であると結ばれた。

視察 2、3 「三原山溶岩流堤・火山博物館・溶岩導流堤現場研修」

講師 伊豆大島ジオパーク推進委員会委員 認定ジオガイド 中林 利郎氏

視察内容 : 『三原山溶岩流』 『砂防事業』 『火山博物館』 『溶岩導流堤』 現地視察

写真・資料等 (資料は別紙添付)



研修 3 「火山対策について」



視察 2、3 「三原山溶岩流」

経費精算書

会派名 蒼土会

代表者名 野田 勝康

経理責任者 野田 勝康



月/日	支出項目	支出額	領収書 No.
5月19日	旅費、宿泊代(2名分) (東武トップツアーズ株式会社)	108,240	①
5月19日	手土産代(1個)	1,785	②
5月24日	交通費(2名分) [JR花巻駅→JR盛岡駅]	1,340	③
5月24日	交通費(タクシー代) [盛岡市役所→ホテル]	680	④
5月25日	交通費(2名分) [JR盛岡駅→JR紫波中央駅]	640	⑤
5月25日	オガールプロジェクト視察研修費 (2名分)	16,200	⑥
5月25日	交通費(2名分) [JR紫波中央駅→JR花巻空港駅]	480	⑦
5月25日	交通費(タクシー代) [花巻空港駅→花巻空港]	1,240	⑧
以下余白			
支出合計額		✓ 130,605	

✓
✓
✓
✓
✓
✓
✓

支出科目 : 【 調査研究費 】

合計金額 : ¥ 108,240 円

以下に領収書貼付

(54,120円 x 2名分)

①



収入印紙
20



TOBU TOP TOURS

AA No. 441678

お客様コード 1178557

平成 28 年 5 月 19 日

領 収 証 RECEIPT

RECEIVED FROM 蒼土会 様

領 収 金 額 THE SUM OF ¥ 108,240 -

但し FOR 5/23 ご視察飛行代金と17

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received.

発行者印

※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

FORM OF PAYMENT	
現金 CASH	5/19
小切手 CHECK	
銀行振込 BANK REMITTANCE	
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

東武トップツアーズ株式会社

福知山支店

〒620-0055 京都府福知山市篠尾新町1丁目77-2
KOWAビル4階

TEL 0773-22-0109

(内訳は別紙)

蒼士会 様

平成28年6月30日

東武トップツアーズ榎福知山支店

電話
FAX 20-1444

電話 0773-22-0109
FAX 0773-22-0246
担当

日 程 表

搭乗日		便名	クラス	人数	出発地	時間	到着地	時間	備考
5月23日	月	高速バス		2	長田野	8:10	伊丹空港	9:25	
〃	〃	JL-2183		2	伊丹空港	10:25	花巻空港	11:50	
〃	〃	ホテルグランシェール花巻 0198-22-7777 シングル2部屋：朝食付き							
5月24日	火	普通		2	花巻駅	8:20	盛岡駅	9:01	当日購入
〃	〃	ホテルメトロポリタン本館 019-625-1211 シングル2部屋：朝食付き							
5月25日	水	普通		2	盛岡駅	8:43	紫波中央駅	9:03	当日購入
〃	〃	JL-2186		2	花巻空港	15:40	伊丹空港	17:10	
〃	〃	高速バス		2	伊丹空港	18:12	長田野	19:27	

時間は変更なることがあります

予 算

	金額	備考
往復高速バス	3,100	
JALパック	51,020	往復航空券、2泊2朝食付
合 計	54,120	取消料金5月6日からかかります

支出科目 : 【 調査研究費 】

合計金額 : ¥1,785 円

以下に領収書貼付

②

領 収 証

花巻市
福知山市議会蒼士会

様

No. _____

★ 1785-

但 手土産代

28年 5月 19日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

合同会社 ちきり屋

〒620-0872 京都府福知山市宇園2-3

TEL0773-22-3632 FAX0773-22-3348

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

支出科目 : 【 調査研究費 】

合計金額 : ¥1,340 円

以下に領収書貼付

(670円 x 2名分)

③

✓

JR 花巻駅 → 盛岡駅

領 収 証

2016年 5月24日

福知山市議会蒼土会 様

金 1, 3 4 0 円

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

東日本旅客鉄道株式会社
花巻402 No.000014



JR 花巻駅 → 盛岡駅

支出科目 : 【 調査研究費 】

合計金額 : ¥680 円

以下に領収書貼付

④

盛士会様

領 収 証

現・チ・ク・割引 No.5413

日付 2016年 05月 24日

車番 [REDACTED] 0000

基本運賃 ¥680円

合計 ¥680円

上記の様に領収致しました

毎度ご乗車ありがとうございます
忘れ物・お気付の点は

(有) つばめタクシー

電話 019-661-0061

盛岡市役所

ホテル

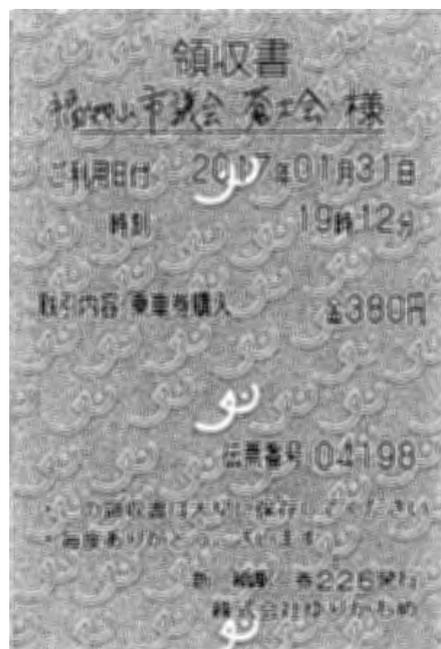
盛岡市役所 → ホテル

支出科目 : 【 研修費 】

合計金額 : ¥ 380 円
(190円 x 2名分)

以下に領収書貼付

②



新橋駅 → 竹芝駅

支出科目 : 【 調査研究費 】

合計金額 : ¥ 16,200 円

(8,100円 x 2名分)

以下に領収書貼付

⑥

領 収 書		No. _____
福知山市議会 蒼士会 様		平成28年5月25日
金額	¥ 16,200 —	
但 オガールプロジェクト視察研修費として 上記正に領収いたしました		
内 訳		
税抜金額	¥ 15,000-	
消費税額	¥ 1,200-	
		〒028-3318 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前2丁目3-3 オガール紫波株式会社 代表取締役 佐々木 廣

支出科目 : 【 調査研究費 】

合計金額 : ¥480 円

以下に領収書貼付

(240円 x 2名分)

7

領 収 証

2016年 5月25日

福知山市議会蒼土会 様

金480円

ただし、乗車券類代
として、上記金額を受領しました。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

紫波中央駅 → 花巻空港駅

東日本旅客鉄道株式会社
花巻空港801 No.000002

紫波中央駅 → 花巻空港駅

支出科目 : 【 調査研究費 】

合計金額 : ¥1,240 円

以下に領収書貼付

⑧

富士会様

花巻空港駅

↓

花巻空港

領収証

毎度ご乗車ありがとうございます。

車両番号

2016年05月25日

乗車料金

¥1240円

立替金

円

(現金・チケット・クーポン)
上記の通り正に領収致しました。

(株)三光タクシー

花巻市二枚橋町大通り2丁目18番地2

TEL 0198-30-2345

花巻空港駅 → 花巻空港

(様式3)

経費精算書

会派名 蒼士会

代表者名 野田 勝康

経理責任者 野田 勝康



月/日	支出項目	支出額	領収書 No.
1月30日	旅費(2名分) (東武トップツアーズ株式会社)	88,280	①
1月31日	交通費(2名分) ゆりかもめ [新橋駅→竹芝駅]	380	②
2月1日	研修会参加費 (会員) [高橋 正樹]	10,000	③
2月1日	研修会参加費 (非会員) [野田 勝康]	15,000	④
2月2日	宿泊費(2名分) [ホテル赤門]	8,000	⑤
2月3日	宿泊費(2名分) [大島温泉ホテル]	13,260	⑥
以下余白			
支出合計額		134,920	✓

✓
✓
✓
✓
✓
✓

支出科目 : 【 研修費 】

合計金額 : ¥88,280 円

以下に領収書貼付 次項に切符写し添付

①



TOBU TOP TOURS

AA No. 441470

お客様コード 591711

平成 29 年 1 月 30 日

DATE

領 収 証 RECEIPT

RECEIVED FROM

福知山市議会 倉工会 様

領 収 金 額
THE SUM OF

¥88,280 -

但し
FOR

1/31 ご旅行代金として

上記金額正に領収致しました
The above sum has been duly received.

発行者印

※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の
受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

FORM OF PAYMENT	
現金 C A S H	<u>1/30</u>
小切手 C H E C K	
銀行振込 BANK REMITTANCE	
ギフト券 GIFT TICKET	
クレジットカード CREDIT CARD	

東武トップツアーズ株式会社

福知山支店

〒620-0055 京都府福知山市篠尾新町1丁目77-2

KOWAビル4階

TEL 0773-22-0109

内訳は別紙

支出科目 : 【 調査研究費 】

合計金額 : ¥640 円

(320円 x 2名分)

以下に領収書貼付

⑤

✓



盛岡駅 → 筑波中央

支出科目 : 【 研修費 】

合計金額 : ¥10,000 円

以下に領収書貼付

③

蒼士会 高橋 正樹 様	領収書 (会員)	NO _____
10,000円 但、研修会参加費 上記正に領収いたしました		
H29年 2月 1日	全国災害ボランティア議員連盟 会 計 鈴木宏治 事務所 福井県越前市中印町 68-14	

支出科目 : 【 研修費 】

合計金額 : ¥15,000 円

以下に領収書貼付

④

領収書		NO _____
蒼士会 野田 勝康 様	(非会員)	
15,000円		但、研修会参加費
上記正に領収いたしました		
H29年 2月 1日	全国災害ボランティア議員連盟	
	会 計 鈴木宏治	
	事務所 福井県越前市中印町18-14	

支出科目 : 【 研修費 】

合計金額 : ¥8,000 円

以下に領収書貼付

⑤

No. _____

領 収 証

蒼士会

野田 勝康 様

29 年 2 月 2 日

★ ¥4,000.-

但 御前代り

上記正に領収いたしました

内 訳	〒100-0101 東京都大島町元町1-16-7 ホテル赤門 藤井重道 TEL: 04992-2-1213
税抜金額	
消費税額等(%)	

No. _____

領 収 証

蒼士会

高橋正樹 様

29 年 2 月 2 日

★ ¥4,000.-

但 御前代り

上記正に領収いたしました

内 訳	〒100-0101 東京都大島町元町1-16-7 ホテル赤門 藤井重道 TEL: 04992-2-1213
税抜金額	
消費税額等(%)	

支出科目 : 【 研修費 】

合計金額 : ¥13,260 円

以下に領収書貼付 次項に明細書添付

(6,630円 × 2名分 宿泊代)

⑥

領 収 証

No. 000060049-9

蒼士会

様

17年 02月 02日

合計領収額	13,260
(うち入湯税)	(300)
(うち消費税)	(960)
(諸税合計額)	(1,260)
予約金	0
クーポン	0
カード	0
前受金	0
補助金	0
売掛金	0
現金入金	13,260

上記の通り、正に領収いたしました。

伊豆大島・三原山温泉



大島温泉ホテル

〒100-0103 東京都大島町泉津字木積場3-5

TEL 04992-2-1673

FAX 04992-2-2759

<http://www.oshima-onsen.co.jp>担当者 : XXXXXXXXXX

管理番号: 20170202-210439-1

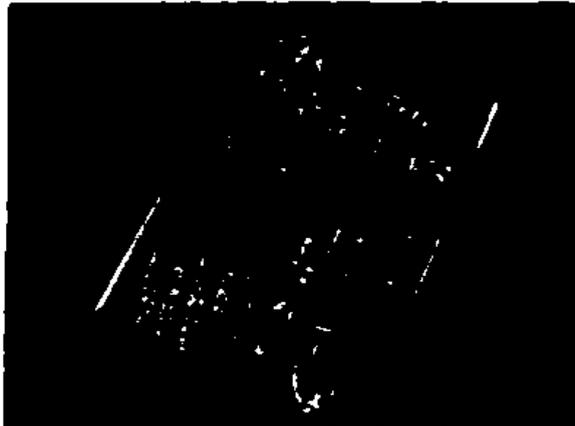
視 察 研 修 行 程 表

会 派 名		「 蒼士会 」	
日 程		平成 29年 1月31日 (火) ~ 2月3日 (金)	
日次	月日(曜)	行 程	
1	1月31日 (火)	福知山駅 発 14:44 (はしだて4号) ↓ 東京駅 着 18:43 (のぞみ240号) ↓ 竹芝栈橋 発 22:00	夜行船 (船中泊)
2	2月1日 (水)	大島 港 着 6:00 研修 10:10~16:00	スケジュール内容 研修 10:10~15:00 【全国災害ボランティア議員連盟 研修会】 【※講座プログラムは別紙添付】 研修場所：大島町役場 東京都大島支庁 宿泊：ホテル赤門
3	2月2日 (木)	研修 9:30~15:00	スケジュール内容 研修 9:30~15:00 【全国災害ボランティア議員連盟 研修会】 【※講座プログラムは別紙添付】 研修場所：大島町役場 および現場研修 宿泊：大島温泉ホテル
4	2月3日 (金)	大島 港 発 10:25 (高速船) ↓ 竹芝栈橋 着 12:00頃 東京駅 発 13:50 (新幹線) のぞみ113号 ↓ 福知山駅 着 17:43 (きのさき11号)	

支出科目:【資料購入費】

合計金額: ¥799

購入資料内訳		単位:円
資料名	金額	発行元
稼ぐまちが地方を変える 以下余白	799	NHK出版親書
合計	799	



以下に領収書貼付

領 収 証

No. _____

福知山市議会 蒼士会 様 28年5月21日

* 799

但 紙 印

上記正に領収いたしました

内 訳	〒028-3318 岩手県麻波郡紫波町紫波中央駅前2丁目3番地3 オガール紫波株式会社 代表取締役 佐々木 廣 TEL:019-681-1316 FAX:019-681-1318
税抜金額	
消費税額等(%)	

支出科目: 【資料作成費】
合計金額: ¥12,086

②
別紙 2

以下に領収書貼付

領 収 書

領収書管理No. W000348187
注文番号 Y000000018456784

発行日: 2016年 6月17日
領収日(最終出荷日): 2016年 6月15日

福知山市議会 倉士会 様

領収金額(税込) **¥12,086-**

但し LOHACO商品代金(クレジットカード決済)

上記の金額 正に領収いたしました。

東京都江東区豊洲3-2-3
アスクル株式会社

内訳	数量	単価(税込)	金額(税込)
アスクル バイブ式ファイル 両開き ベーシックカラースーパー(2穴) A4タテ とじ厚100mm背幅116mm ブルー 3冊	2	2,057	4,114
アスクル フラットファイル A4タテ グレー エコノミータイプ 30冊	1	704	704
アスクル フラットファイル厚とじ A4タテ ブルー 79245 1袋(10冊入)	2	561	1,122
プラス フラットファイル厚とじ500 A4タテ ブルー 87985 1袋(10冊入)	2	1,317	2,634
トンボ鉛筆 スティックのり ビットハイパワー 22g PT-NP	2	170	340
PROテープカートリッジ ラベル幅12mm パステルオレンジ 黒文字	2	793	1,586
キングジム 「テブラ」PROテープカートリッジ マットラベル 空色 黒文字 12mm SB12B	2	793	1,586

今回のご注文は高橋 正樹 様 より承りました。

【以下余白】

支出科目: 【資料作成費】コピー代
 合計金額: ¥202

以下に領収書貼付

③
別紙 2

公 納入通知書兼領収書

口座番号 01090-7-960071 加入者名 福知山市会計管理者

平成28年度 番号 6700054916-00-00

納付者
 福知山市字内記13-1
 蒼士会 様

コピー代
 平成28年度下半期(4月~9月分)

納付金額 202円

納入期限 平成28年12月9日

所属 01010000 市議会 議会事務局
 会計 01 一般会計
 款 20 諸収入
 項 05 雑入
 目 04 雑入
 節 01 雑入
 細節 50 コピー代
 説明 02 議会事務局

上記のとおり納付してください。
 平成28年11月24日
 福知山市長 大橋 一夫



上記のとおり領収しました。

京都府福知山市 市町村コード 262013

領収日付印

福知山市
 金銭分任出納簿
 28.12.16
 (103)
 領収
 (納付者保管)

納 め る と こ ろ	
福知山市役所会計室及び各支所出納窓口	
京都銀行	本店・支店
京都北都信用金庫	本店・支店
京都丹の国農業協同組合	本店・支店
関西アーバン銀行	福知山支店
近畿労働金庫	福知山支店
但馬銀行	福知山支店
但馬信用金庫	福知山支店
福知山市内の京都農業協同組合	
福知山市内の中兵庫信用金庫	
近畿2府4県の郵便局(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県)	

65000101640000



A 4 2 8 6 7 0 0 0 5 4 9 1 6 0 0 0 0 A

支出科目: 【資料作成費】
合計金額: ¥18,442

以下に領収書貼付

領 収 書

領収書管理No. W000507670
注文番号 Y000000027052866

発行日: 2017年 3月12日
領収日(最終出荷日): 2017年 3月11日

福知山市議会 倉士会 様

領収金額(税込) **¥18,442-**

但し LOHACO商品代金(クレジットカード決済)

上記の金額 正に領収いたしました。

東京都江東区豊洲3-2-3
アスクル株式会社

内訳	数量	単価(税込)	金額(税込)
アスクル バイブ式ファイル 両開き ベーシックカラースーパー (2穴) A4タテ とじ厚100mm背幅116mm ブルー 3冊	2	2,026	4,052
アスクル フラットファイル A4タテ グレー エコノミータイプ 30冊	1	679	679
フラットファイル厚とじ A4タテ 10冊 ブルー アスクル	2	537	1,074
プラス フラットファイル厚とじ500 A4タテ ブルー 87985 1袋(10冊入)	2	1,317	2,634
トンボ鉛筆 スティックのり ビットハイパワー 中 22g PT-NP	2	170	340
【高白色】【白色度98%】コピー用紙 マルチペーパー スーパーホワイト+厚口 A4 1箱(500枚入×5冊)	1	2,268	2,268
コピー用紙 マルチペーパー スーパーホワイト+ A3 1箱(2500枚:500枚入×5冊) 高白色 アスクル	1	3,529	3,529
キングジム テブラ PROテープ エコバック 12mm 赤ラベル(黒文字) 1箱(5個入) SC12R-5P	1	3,866	3,866

今回のご注文は高橋 正樹 様 より承りました。

★控除★がついている商品はセルフメディケーション税制対象商品
【以下余白】

支出科目: 【資料作成費】コピー代
 合計金額: ¥113

⑤
別紙 2

以下に領収書貼付

公 納入通知書兼領収書

口座番号 01090-7-960071 加入者名 福知山市会計管理者

平成28年度 番号 6700081204-00-00

〒
 福知山市字内記13-1
 納付者
 蒼士会 様

コピー代
 平成28年度下半期(10月~3月分)

納付金額 113円

納入期限 平成29年3月31日

所属 01010000 市議会 議会事務局

会計 01 一般会計

款 20 諸収入

項 05 雑入

目 04 雑入

節 01 雑入

細節 50 コピー代

説明 02 議会事務局

上記のとおり納付してください。

福知山市長
 大橋 一夫



上記のとおり領収しました。

京都府福知山市 市町村コード 262013

領収日付印



(納付者保管)

納 め る と こ ろ	
福知山市役所会計室及び各支所納窓口	
京都銀行	本店・支店
京都北都信用金庫	本店・支店
京都丹の国農業協同組合	本店・支店
関西アーバン銀行	福知山支店
近畿労働金庫	福知山支店
但馬銀行	福知山支店
但馬信用金庫	福知山支店
福知山市内の京都農業協同組合	
福知山市内の中兵庫信用金庫	
近畿2府4県の郵便局(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県)	

65000152610000



A 4 2 8 6 7 0 0 0 8 1 2 0 4 0 0 0 0 A

